
沼津情報・ビジネス専門学校のカリキュラムポリシー

沼津情報・ビジネス専門学校は、卒業認定および高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準をシラバスにより明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。さらに、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年 2 回以上実施し、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得できるよう、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

国際ホテル・旅館科のカリキュラムポリシー

国際ホテル・旅館科は、沼津情報・ビジネス専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、日本語、英語の外国語スキルやビジネスマナー、ビジネスソフトやホテル、旅館、観光分野の知識・技能を習得するための授業科目を学んでいく。2年間で基礎から応用、実践までを習得するため講義・演習をバランスよく配置し、体系的に教育課程を編成する。

【1年次】

1年次は、日本で就職するために必要となる日本語能力を基礎から上級までしっかりと学習する。また、日本のビジネス社会にふさわしい挨拶、電話対応など、基本的な接遇やマナー、ITリテラシーの基本を中心にパソコンの基本的な操作方法と使い方、ビジネス文書作成についても学習するキャリア教育として、就職活動で必要となる企業研究や見学、就職試験対策などを行う。専門分野では、サービス業界で働く際に必要な知識やホテル業の経営特性、さらに宿泊、料飲部門など各部門の業務についての基本的な知識を学習する。

【2年次】

1年次に学習した知識や技術を活かして、演習を中心に技能や知識を身に付ける。プレゼンテーション技術やパソコンの応用的な知識の習得、ビジネス文書作成の演習を通して実践力を養う。専門分野では、ホテルや旅館の現場を想定したロールプレイングを通し実践力を身に付け、サービス業務で必要となる「おもてなし」の心や接客の技術や心得を学んでいく。語学では、サービスの現場で使用する英語力の向上を目指すとともに基本的な中国語を学び、接客の幅を広げていく。サービス接遇検定上位級、ホテル実務技能認定試験の合格を目指す。
